

## 音楽会に向けて

### ～感じて 考えて 工夫しよう～

今年も、音楽会に向けて、毎朝、各教室から子供たちの歌声が響いています。

今年度の音楽会のテーマは、「感じて 考えて 工夫しよう」です。

子供たち自身が、音楽を感じ取り、どのように表現するかについて考え、自分の思いや意図をもって、歌ったり演奏したりすることに取り組んでいます。

日々の学習の中で、子供たちは、友だちと一緒に協力しながら学び合う中で、音楽を創り上げています。

長い時間の取り組みの中で、出来なかった事が、出来るようになった喜び、また、友だちと一緒に声や音を合わせる楽しさを、味わうこともできました。

当日のステージでは、これまでの学習の成果を発揮し、それぞれが自分に自信をもって、一生懸命に表現する姿を見せてくれる事と思います。

そして、子供たち自身が、大きな達成感と成就感を味わえるものと確信しています。

どうぞ、子供たちへ温かい拍手を、よろしくお願い致します。

(田中正子)

日頃は、学校教育にご支援賜りありがとうございます。最近、オリンピックに向けて選手が努力している様子が報道されています。音楽会もオリンピックと同じように、過程を大切にしていきたいと考えています。

その音楽科の学習には、『表現』（歌唱、器楽、音楽づくり）と『鑑賞』の2つの領域があります。

そのため、子供たち同士が鑑賞し合う児童音楽会と保護者の方々や地域の皆様にご覧いただく音楽会の2回の本番があります。

プログラムは、普段の授業内容を基に構成しています。低学年は、二つに分かれて交互に歌うこと、鍵盤ハーモニカを主とした合奏、声を素材とした音楽づくり、中学年は、合唱やリコーダーを主とした合奏、体を使って出せる音を素材とした音楽づくり、高学年は、豊かな響きのある合唱や重厚な音の重なりのある合奏など、各学年がめあてをもって取り組んでいます。

当日は、子供たちが自信をもってステージに立つことができるよう、みんなで創り上げたいと思います。

ご家庭での励ましをどうぞよろしくお願い致します。(西沢久実)